守谷市の外国語教育 －グローバル化に対応した人材育成を目指して－

守 谷 市 外 国 語 教 育

【小学校英語活動・外国語活動】
コミュニケーション能力の素地を養う

【中学校外国語】
総合的なコミュニケーション能力を育成する。

【国際理解教育】
国際化にふさわしい資質や能力の基礎を育てる

【守谷市小学校英語活動・外国語活動の全体目標】

外国語に触れる体験的活動を通して，外国語を聞いたり話したりすることに興味関心をもち，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や能力を育てるとともに，言語，生活，習慣などに対する理解を深め，国際理解の基礎を培う。

【5つの基本原則】

○ 守谷市の英語活動・外国語活動は，外国語を通してどれだけ子どもが興味・関心をもって楽しく積極的にコミュニケーションが図れるかを重視する。ここで言うコミュニケーションとは，単に英語で会話ができるという能力だけを問うのではなく，諸活動を通し，友だちやALTとふれ合い，豊かな人間性や社会性を身につけ，国際社会で活躍できる人材育成の意味を含んでいる。

○ 守谷市の英語活動・外国語活動は，ALTとHRTが子どもとのコミュニケーション活動を大切にし，子どものコミュニケーション能力を育てていく活動である。

○ 守谷市の英語活動・外国語活動は，「聞くこと」「話すこと」に視点を置き，音声による活動を主とするものである。また，この活動は文部科学省の教育課程特例校の指定，及び小中一貫教育「きらめきプロジェクト」の一環として，フォニクス等の発展的な内容を段階的に実施していくものとする。

○ 守谷市の英語活動・外国語活動は，外国語に触れることにより，子どもが異文化を理解し，自他の文化を尊重する国際人としての精神を育てていく糧とするものである。

○ 守谷市の英語活動・外国語活動は，基本原則を基に，各学校が全職員で協力し合いながら，年間活動計画を立案し実践していくものである。

【中学校外国語目標】

外国語を通じて，言語や文化に対する理解を深め，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り，聞くこと，話すこと，読むこと，書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

【目指す生徒像】

Interactive English Forum で自分の思いや考えを伝えることができる生徒

「聞くこと」や「読むこと」を通じて得た知識などについて，自らの体験や考えなどと結びつけて活用し，「話すこと」や「書くこと」を通じて発信することが可能となるような4技能を総合的に育成する。

《小中9年間の外国語教育で目指すコミュニケーション能力，5つのポイント》

○コミュニケーションを図るための積極性　○相手を尊重する態度　○豊かな自己表現力
○様々な分野における幅広い知識　○伝える内容を整理する構成力

【平成２７年度守谷市外国語教育の取組】

１　実践（取組等）

今年度は，市教研英語教育研究部と市外国語活動推進委員会を連携させ，活動した。

期　　日	研修内容等	会　場
４月２８日	市教育研究会総会 （組織及び研究テーマ検討・年間事業計画の作成） 【研究主題】 積極的にインタラクションできる児童生徒の育成を目指して ～守谷コミュニケーションチャレンジの活用を通して～	守谷小学校
６月２４日	英語インタラクティブフォーラム守谷市大会打合せ	守谷中学校
６月３０日	英語インタラクティブフォーラム守谷市大会準備会	中央公民館
７月　１日	英語インタラクティブフォーラム守谷市大会	中央公民館
（授業研究：　外国語活動推進員会）		
７月　８日	授業者　風見　恵子先生　スティーブ・エイチソン先生	御所ケ丘小学校 ６年２組
１０月　１日	授業者　福島理保子先生　ティアネン・シルコック先生	御所ケ丘中学校 ２年３組
１月１９日	授業者　荒井　紀子先生　ポール・デ・ジョバンニ先生	松ケ丘小学校 ６年２組
３月　５日	Moriya　English　Day	中央公民館

○英語インタラクティブフォーラム守谷市大会

どの代表者も，日頃の練習の成果を発揮し，インタラクティブ（相互に作用する，対話的な，双方向の，相乗効果の）の名にふさわしい白熱したフォーラムとなった。また，小中一貫教育，小学校の外国語活動の推進という観点から，小学生（御所ケ丘小学校，松前台小学校，大井沢小学校，黒内小学校）の参観・エキシビションゲームの参加も実施した。

○ Moriya　English　Day

中学生によるインタラクティブフォーラム，小学生による外国語活動の実践発表の場として，今年度で２回目となる取組である。中学生にとっては，来年度に向けた新人戦的な意味合いがあり，小学生にとっては，普段の活動の成果を発揮する機会となる。English　Day を行うことにより，中学校では代表者選出を目的とした，英語の授業におけるクラス・学年単位でのフォーラムが実施され，生徒一人一人のコミュニケーション能力が向上した。小学校では，工夫を凝らしてパフォーマンスを行い，英語を「教科」としてではなく，「言語」として活用する姿が見られた。

３　成果と課題

（１）成　果

・今後の英語教育改革を見据えた授業改善及び実践ができた。
・小学校児童は，コミュニケーションにおける「素地」から「能力育成」へ移行しつつある。
・中学校における英検取得率が向上している。

（２）課　題

・コミュニケーション能力育成に向けた，小中学校における系統的な指導（小小，小中連携）
・守谷市 CAN-DO リスト・コミュニケーションチャレンジ等の指導方法の共通実践
・Moriya　English　Day のさらなる充実